

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

電動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ
建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤ
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他
の家具
金物

12

物干金具
諸金具

13

設計
施工
ガイド

会社案内

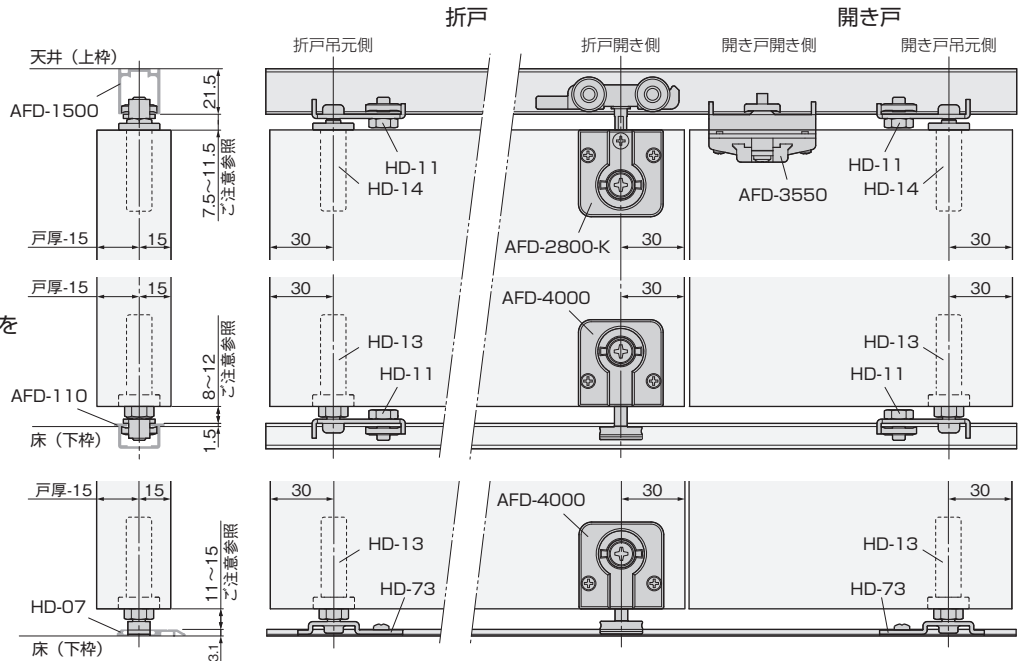
使用条件

◇折戸1組の総質量:AFD-2800-K 30kg以下/AFD-2800 20kg以下 ◇戸の厚さ:29mm以上 ◇折戸1組の戸幅:600~900mm
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。
折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

設計ガイド

■金具の納まり参考図

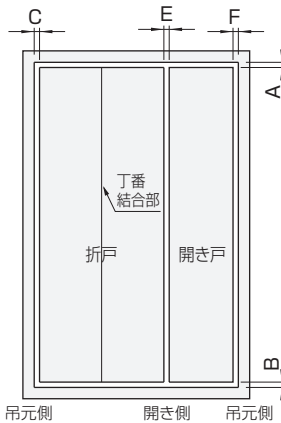
※図は折戸+開き戸を示します。



下部レールにAFD-110を使用の場合

下部レールにHD-07を使用の場合

■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法



●上下のすきま

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=7.5~11.5
B=下部レールと戸の間のすきま寸法
AFD-110またはAFD-120の場合=8~12
HD-07の場合=11~15

●左右のすきま設定(左図の組合せの場合)

※下表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

C+E+F

使用丁番: HD-35

| 戸厚/戸幅 | 300 | 350 | 400 | 450 |
|-------|------|------|------|------|
| 30 | 10.4 | 9.9 | 9.5 | 9.2 |
| 33 | 13.7 | 13.1 | 12.7 | 12.4 |
| 35 | 16.1 | 15.5 | 15.1 | 14.8 |
| 40 | 22.7 | 22.1 | 21.6 | 21.2 |

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法(AFD-110またはAFD-120の場合=15.5mm、HD-07の場合=18.5mm)、あるいは最大値どうしを足した寸法(AFD-110またはAFD-120の場合=23.5mm、HD-07の場合=26.5mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。
上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法(ただし、AFD-110またはAFD-120を使用の場合:15.5mm<上下のすきま<23.5mm、HD-07を使用の場合:18.5mm<上下のすきま<26.5mm)
上下のすきま寸法は、次ページ施工ガイド通りの施工を基に設計しています。すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ、余裕のある寸法を設定してください。

E(折戸と開き戸のすきま寸法)

使用丁番: HD-35

| 戸厚/戸幅 | 300 | 350 | 400 | 450 |
|-------|-----|-----|-----|-----|
| 30 | 3.4 | 2.9 | 2.5 | 2.2 |
| 33 | 3.7 | 3.1 | 2.7 | 2.4 |
| 35 | 3.9 | 3.3 | 2.9 | 2.6 |
| 40 | 4.5 | 3.9 | 3.4 | 3.0 |

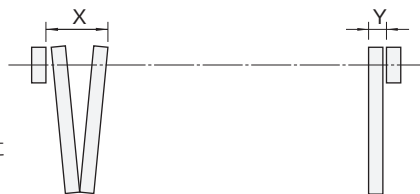
C=F(吊元側すきま寸法)

| 戸厚 | C=F |
|----|-----|
| 30 | 3.5 |
| 33 | 5.0 |
| 35 | 6.1 |
| 40 | 9.1 |

※上記の参考値は「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

■戸を開けた時のX・Y寸法

X・Y寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。内側に引出しなどを設置する場合がございます。



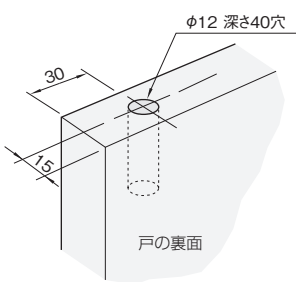
X=91mm+戸厚+吊元側すきま寸法

Y=45mm+吊元側すきま寸法

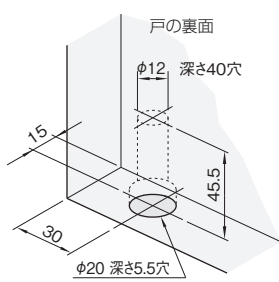
※上記計算式は「使用丁番HD-35」、「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

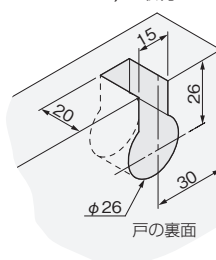
上部ピボット(HD-14)の取付け



下部ピボット(HD-13)の取付け



上部吊り車(AFD-2800-K、AFD-2800)の取付け



下部ガイド(AFD-4000)の取付け

